

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境								3.6
1 音環境				3.5	0.15	-	-	3.5
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-	
1 室内騒音レベル				3.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策				-	-	-	-	
1.2 遮音				3.8	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		アルミサッシ T-2 (三協立山アルミ:システム同等品複層ガラス)		5.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能				2.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		天井:岩綿吸音板、GWボード 床:タイルカーペット		4.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境				3.8	0.35	-	-	3.8
2.1 室温制御				3.5	0.50	-	-	
1 室温				3.0	0.38	3.0	-	
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能		U値 エスガード:0.8、ラムダ+発泡ウレタン30mm:0.8 Low-E複層ガラス:2.70 以下		5.0	0.25	3.0	-	
4 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		床吹き出し空調(オフィス41、42、51、52)		5.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境				3.6	0.25	-	-	3.6
3.1 昼光利用				3.0	0.30	-	-	
1 昼光率		オフィス51床中央 昼光率1.9		3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口				-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-	
1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
2 昼光制御		ルーバー もしくは、ブラインド		3.0	1.00	3.0	-	
3 映り込み対策				-	-	-	-	
3.3 照度		アンビエント300 タスクを組み合わせで 750lx (オフィス)		4.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		タスク照明導入 1制御単位で制御 端末で調整可能		5.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境				3.5	0.25	-	-	3.5
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		F 規制対象外材料を70%以上		4.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
4.2 換気				2.3	0.30	-	-	
1 換気量				3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能				1.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	3.0	-	
4 給気計画				-	-	-	-	
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		全館屋内禁煙 喫煙は2階、3階、4階、のテラス等		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.5
1 機能性				3.8	0.40	-	-	3.8
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		4階 5階 各959㎡ 従業員想定200人 9.59㎡/人		4.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画				3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		天井高さ 3.2m 窓あり		5.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		全館禁煙+リフレッシュスペース+自動販売機、ミニキッチン 例)リラククス:木フローリング 木 例)実験室:機能性塗り床 材、事務室OAフロア、照明CGパース検討		5.0	0.33	-	-	
3 内装計画				5.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		防汚性内装材、風除室、メッキ、段差なし		4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.1	0.31	-	-	3.1
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-	
1 耐震性				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		20年 タイルカーペット、ビニルクロス、岩綿吸音板、		4.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管B=VLP、排水管C=DVLP、冷温水管D=SGP(白)		4.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.6	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水器具採用、雨水利用によるトイレ洗浄(雑用水)系統あり	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電機、サーバーのUPS、	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	多様化、2レフト化	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.4	0.29	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高4.0m、4.8m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	$(163.6+16.2+14.1+11.1+10.2)/1424.6 = 0.151$	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出		樹林地保存、外構緑化指数 = 69.02% 建物緑化指数 = 18.48%	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		空地率72.4% 中高木62.26% 緑被率8.54 舗装面積率14.90%	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物の熱負荷抑制		PAL値225.5	4.4	0.30	-	-	4.4
2 自然エネルギー利用			4.0	0.20	-	-	4.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		トップライト、クール/ヒートレンチ、集熱外壁	4.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		太陽光発電パネル 風力発電	4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			4.9	0.30	-	-	4.9
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		ERR=34.4%	4.9		-	-	
集合住宅の評価			3.0		-	-	
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		エントランスにディスプレイを設置し環境エネルギーインフォメーションによる理解・啓蒙を促す	4.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.8	0.15	-	-	3.8
1.1 節水		主要洗面は自動水栓、大便器類は節水型	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.6	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		雨水利用している	4.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.63	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		既存なし	3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		再生骨材の路盤利用、屋上緑化ユニット、長尺塩ビシート、再生木デッキ	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+LGS+仕上げ OAフロア、可動間仕切りの使用	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	
1 消火剤		不活性ガス消火剤(サーバー室)	4.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0 GWP未定	3.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2 運用段階での低減	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		1事前調査、3-1地表面対策(緑化)49% 4-1屋根面11.4% 排熱抑制	3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		バイク置き場、駐車場の確保等	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.50	-	-	
2 振動			3.0	0.50	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	